

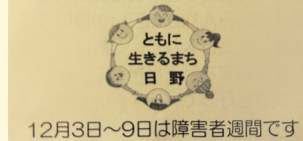
主な議案より

インクルーシブ社会を目指そう！ だれもが安心して楽しみながら生活できるように

障害者差別解消推進条例の見直し改正があり、日野市の条例ではじめて「**インクルーシブ社会**」という言葉が入りました。「すべての人が**自分らしく生きる**ことができ、個々の違いや多様性を認め合いながら、平等に参加できる社会のこと。障害のあるなし、年齢、性別、人種、民族、国籍、宗教、経済状況等による差別や偏見がなく、誰もが尊重され、望む場所で安心して楽しみながら生活できる社会」と定義されています。いいですね。

差別や偏見を解消していくためには、障がい及び障がい者に対する理解を深めることです。子ども達は学校で「ハートフル・プロジェクト」に取り組んでいます。大人も理解を深める機会を、また共に学ぶインクルーシブ教育の推進を求めました。(賛成)

障害のあるなしに関わらず”誰にとっても優しいまち”を目指して



12月3日～9日は障害者週間です
職員・議員がつけるストラップ

気候変動対策を 着実に進めていくために

気候市民会議の提言を受け、日野市では気候変動対策施策ロードマップをつくりました。ここに書かれたことの実現に向け、財源を確保するための基金(貯金)ができました。

ロードマップを絵にかいた餅にしない、という意気込みを感じます。基金を活用し、エネルギーの地産地消がすすむ仕組みなど、皆さんと考えていきたいです。(賛成)

ロードマップは
こちら ▶



大河原まさこさん当選！ (衆院選報告)

10月27日投開票の衆議院議員選挙では、東京・生活者ネットワークが推薦した大河原まさこさん(立憲民主党)が当選されました。皆さんの一票一票の積み重ねの結果です。私はジェンダー平等、脱原発で再エネ促進、ケアする・される人への支援など、実現してほしい政策を訴え、応援しました。

今年も選挙が目白押しです。政治をあきらめることなく、投じていきましょう！



気軽に話し合える 場として

(おしゃべりカフェ報告)

毎議会後に開催するおしゃべりカフェ。9月議会報告の後は、衆議院議員選挙や市内のデータセンター建設計画について、また日頃図書館を利用して感じることなど、話題は尽きませんでした。「こんな風に話しあえる場があってうれしい」とお声をいただいています。

開催の詳細はHPをご覧ください。ご参加お待ちしております！

